

# ツブキ先生の 虫のつぶやき

最終回

## 冬の花ヤツデの 「よい子」を作る戦略

津吹卓



冬に咲く花というと、何を思い浮かべますか。ツバキ、サザンカ、ウメ、スイセン、ツワブキ、これらは目立つ花ですね。意外と気付かない花に、ピワがあります。ピワの実をよくご存じだと思いますが、花は冬に咲くのです。

**第1問** 一体何がピワの花粉を運ぶのでしょうか。

冬にも虫はいるのです。

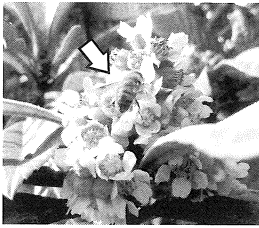
**答え** 写真1を見てください。

アブが来ていますね（矢印）。

他にハエや、成虫で冬越しす

るチョウが、蜜を求めて、晴

れた日の暖かい時間に、花に



▲写真1：ピワの花

やって来ます。ヤツデの花に来るのは、アブやハエが中心です。

皆さんは、ヤツデをご存じですか。葉が大きいので目立ちますね。

**第2問** なぜヤツデなのでしょうか。

**答え** 漢字では「八手」

と書きます。手の指が

8本の意味です。しか

し、数えるとわかるの

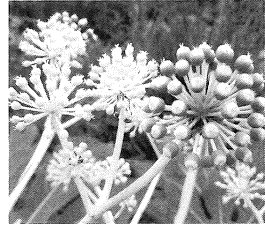
ですが、8本前後で、

きつちり8本ではあり

ません（写真2）。



▲写真2：ヤツデの葉と花



▲写真3：ヤツデの花(雌の時期)と実

ではヤツデの花を見てみましょう(写真3)。大きなのは実になりかけのものです。

第3問 この花の雄しべと雌しべはどれでしょうか。

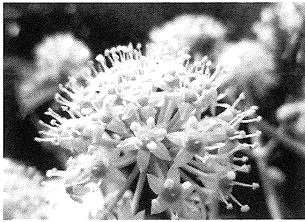
答え この花にあるのは中央にツンツンと出ている雌しべだけです。では雄しべは無いのでしょうか。花には写真4のタイプがもう一つあります。これは花らしく、花びら・雄しべとして雌しべがよくわかりますね。

第4問 では難しいのですが、写真3の花は何なのでしょう。

答え 写真4の花の雄しべは出来上がっていますが、雌しべは未完成です(雄の時期)。そして雄しべが取れた後に雌しべが出来上がったのが写真

3なのです(雌の時期)。

第5問 ヤツデはなぜこんな



▲写真4：ヤツデの花(雄の時期)

に面倒くさいことをするのでしょうか。これが今回のポイントです。ヤツデの立場で考えてください。

答え もし雄しべと雌しべが同時に出来ると、自分の花粉が雌しべに付くことが起ります。自分自身での受粉なので、これは動物でいうと近親交配の極みで、血が極端に濃いのです。雄しべと雌しべで子孫を作る目的は、両親の遺伝子を混ぜて、いろいろな遺伝子が組み合わさった子どもを作ることです。そのため、雄しべが出来る時期と雌しべが出来る時期をずらすことで、自分自身の花粉が雌しべに付くことを避けているのです。

ヤツデは時期をずらし、ツツジは雄しべと雌しべの向きを変え、カラスウリ(夏号で紹介)は花が雄花と雌花に分かれ、さらには植物によっては株自体が雄の株と雌の株に分かれる、という具合です。

植物はいろいろな方法で、自分の花粉が自分の雌しべに付きにくい工夫をしているのです。

(十文字中学・高等学校(理科/生物))

十文字学園女子大学児童教育学科非常勤講師)